

令和元年度志木市ふれあいミーティング 開催記録

- 1 日 時 令和元年9月9日（月）17時30分～19時
- 2 場 所 しっキーずステーション
- 3 団体名 特定非営利活動法人志木総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブしっキーず
- 4 参加者 6人



5 内 容 次のとおり

1) 参加者紹介

2) 団体の活動紹介と意見交換

- 各課を横断展開しているさまざまな事業
 - ・スポーツ、レクリエーションについて
 - ・シニアの健康増進、生きがづくりについて
 - ・放課後の居場所として「アフタヌーン」について
 - ・パラスポーツについて
 - ・レスキューについて
 - ・NPO 法人としてのさまざまな活動について

3) 意見交換・質疑応答（主なもの）

（■…参加者の皆さんからのご意見・ご質問など □…市長コメント）

- しっき一ずが様々なスポーツをおこなっているのですが、志木市体育協会に加入しないかと話もあるが、体育協会は種目ありきの参加団体であり、しっき一ずは、その時に実施可能なもの、出せるものを出して事業を行っているのですが体育協会の団体としてはなじまない。型にはまらない活動を行っている
- 主体的・自主的な活動やイベントを自分たちでできるのは理想的なあり方であると思います。
- 体育祭もすばらしいが参加する町内会も半分ぐらいと聞いている。道具や場所があれば、他のやり方もあるのかもしれない。
- 市民体育祭は37町内会のうち21町内会にご参加いただいている状況です。来年度は50回の節目の大会なので何か新しい試みを行うのも良いかもしれません。
- 市役所といろいろな事業を引き続き行いたいのですが、対等なパートナーシップとしての話をする場があればいいのだが。しっき一ずは、障がいのある人も、高齢の人ともいろいろな事業が行える。いつもの活動が「普段のくらしにしっき一ず」となっており、イベントだけではなくいつも活動を行っている。
- 互助としての活動はとても大切であり、これからも活動を続けていきたいと思っています。
- 地域の中で世代や障がいを超えて活動を行っている。志木市はコンパクトな市だが、それぞれの地域性は違うところもある。
市との事業においても部局を超えたしっき一ずの活動は、やりたいことやれることと市が望んでいる事とのマッチングをどのようにすればいいのか、パートナーシップの築き方が課題となっている。志木市のどの部局と話をすればいいのかも課題である。
- 地域包括ケアとの関係も深いので、今後は志木市の組織においても地域包括ケア担当とのかかわりが深まるのではないかと考えています。